

目次

- 一 調査方法
- 二 調査の結果

一 調査方法

昭和十七年八月全所五下。ノ国民学校児童ノ身長並ニ体重ヲ調査シ之ト
昭和十一年度ノ同一国民学校児童ト比較スルコトニヨツテ時局下適宜セル
食糧事情カ児童ノ身長並ニ体重ノ發育不足ヲ表セルコトノ由ニシタ。其
ノ影響ハ都公地ニ於テ顕著ニシテ農村ニ於テハ甚ダ少キコトヲ認メタ。
本年度ニ於テモ同様ノ方針ノ下ニ調査ヲ行ツタ。其ノ範圍ハ昨年度ヨリ
モ狭ク全同一。ノ都府縣道ヨリ一。ノ国民学校ヲ選ビ其ノ児童ノ身長並
ニ体重ヲ調査シ之ト昭和十一年度ノ同一国民学校児童トヲ比較シタ。現在
ニ至リテ是レニ集計ヲ完了シ得タルハ凡都道府縣ノ六。校ニ関スルモノニシテ残
四。校ニ係テハ調査票ノ延着等ノクメ第ニ四報告ニ譲ル。
但シ集計並ニ觀察ヲ昨年度ヨリモ一層詳シク行フコトが出来タ。
調査ノ要點ハ昨年度ト同様ニ昭和十八年度六年生(七歳)ノト

キヨリ、六年生(十二歳)ニ至ル身長並ニ体重ノ發育経過ト昭和十一年度
六年生(七歳)ノトキヨリ六年生(十二歳)ニ至ル身長並ニ体重
ノ發育経過トヲ比較スルコトニアル。若シ後者が前者ヨリ小デアルトスレ
バ時局下児童ノ發育不足ガ認めラレタコトニナル。

二、調査ノ結果

集計ノ結果ハ第一圖乃至第十圖第一表乃至第三表ノ如クデアアル。以上ノ
關係ヲ正シク図示スルニハ第一圖ノ如ク時代ヲX軸、身長或
ハ体重ヲY軸ニトリタル空間中ノニツノ曲線AB、CDトシテ現ハスベキ
デアアル。ABハ昭和十一年度六年生ノ發育経過、CDハ昭和十八年度六年
生ノ發育経過デアアル。ACハ七歳児童ノ身長或ハ体重ガ昭和六年ヨリ昭和
十三年ニ至ル期間ニ於テ変化スル模様デアアル。BDハ十歳児童或ハ体重
ガ昭和十一年ヨリ昭和十八年ニ至ル期間ニ於テ変化スル模様デアアル。

ハCハ事変前デアアルカラ上昇ノ傾向ヲ示シBDハ事変後デアアルカラ下降
ヲ示ス。斯カル現ハシ方ハ甚ダ複雑ニシテ又比較ニモ不便デアアルカラ此ノ
ニ曲線ヲYZ平面ニ投影シタルモノヲ第一圖以下ニ示シタルデアアル。AC
ハ上昇シBDガ下降スルタメニ投影セラレタルニ曲線ハ交叉シ或ハ漸近ス
ル。若シ事変後ノ發育ニ異常ガナケレバニ曲線ハ平行或ハ開散スル筈デア
ル。

第一圖、第二圖ハ全國工業地域ニ於ケル身長及ビ体重ノ平均デアアルガ曲
線ハ着明ト交叉ヲ示シ男子ニ於テ身長約ニ、三糧、体重約一、ニ冠、女子
ニ於テ身長約一、。糧、体重約一、ハ肝ノ發育不足ヲ認メル。

第四圖、第五圖ハ全國商業住宅地域ニ於ケル身長及ビ体重ノ平均デアアル
ガ全ク同様ニ曲線ハ着明ト交叉ヲ示シテキル。

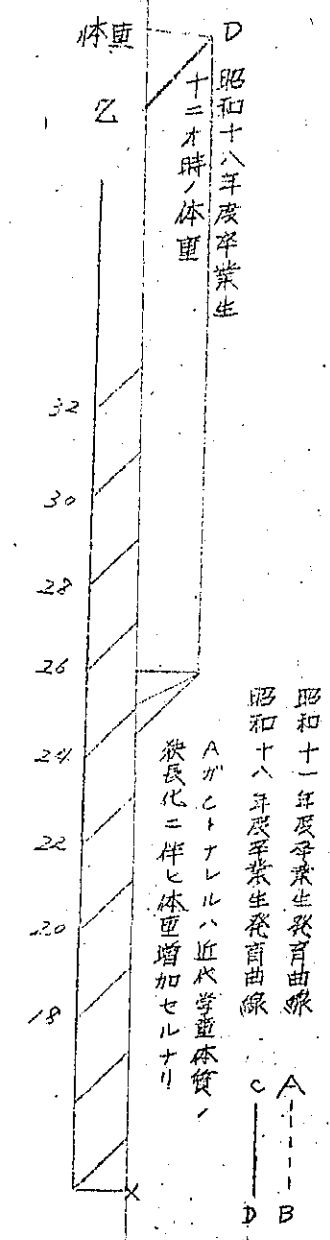
男子ニ於テ身長約一、六糧、体重約一、。冠、女子ニ於テ身長約一、八糧

体重約一、四斤ノ不足カ現ハレテナル。

第六回、第七回ハ合衆農漁村地域ニ於ケル身長及び体重ノ平均デアアルガ
昭和十八年度六年生ノ發育曲線ハ昭和十一年度六年生ノ發育曲線ト平行シ
テナル。之ニヨツテ見ルト農漁村地域ニ於テハ児童ノ發育ニ未ダ異常ヲ認
メザル如クデアアル。

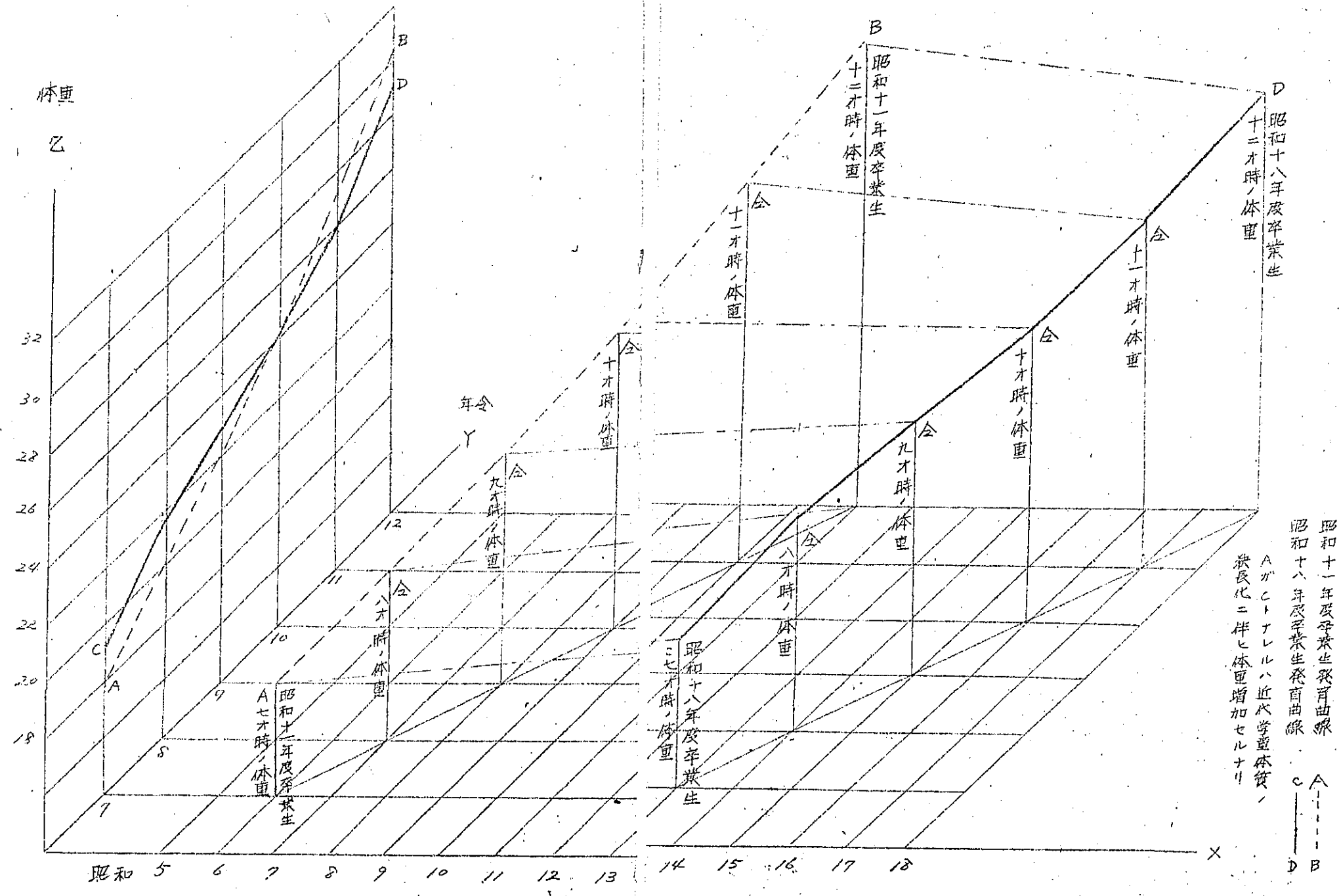
第八回、第九回ハ各国民学校別ニ觀察セルモノノ中又ノ最モ著明ナル
モノヲ選シテ示シタモノデアアル。東京郡山谷国民学校ハ住宅地域ニ於テ
ハ男子約二斤、女子約二斤ノ体重發育不足ヲ示シタ。大阪府玉造国民学校
（住宅地域）ニ於テハ男子約二斤、女子約三斤ノ身長發育不足ヲ示シタ。

第十回、第十一回ハ發育ニ異常ナキモノノ中代表的ナルモノヲ示シタノ
デアアル。春川縣坂本国民学校ハ農村地域ニ於テハ何レノ年齢ニ於テモ
身長女子約三斤、男子約二斤ノ増加ヲ見テナル。



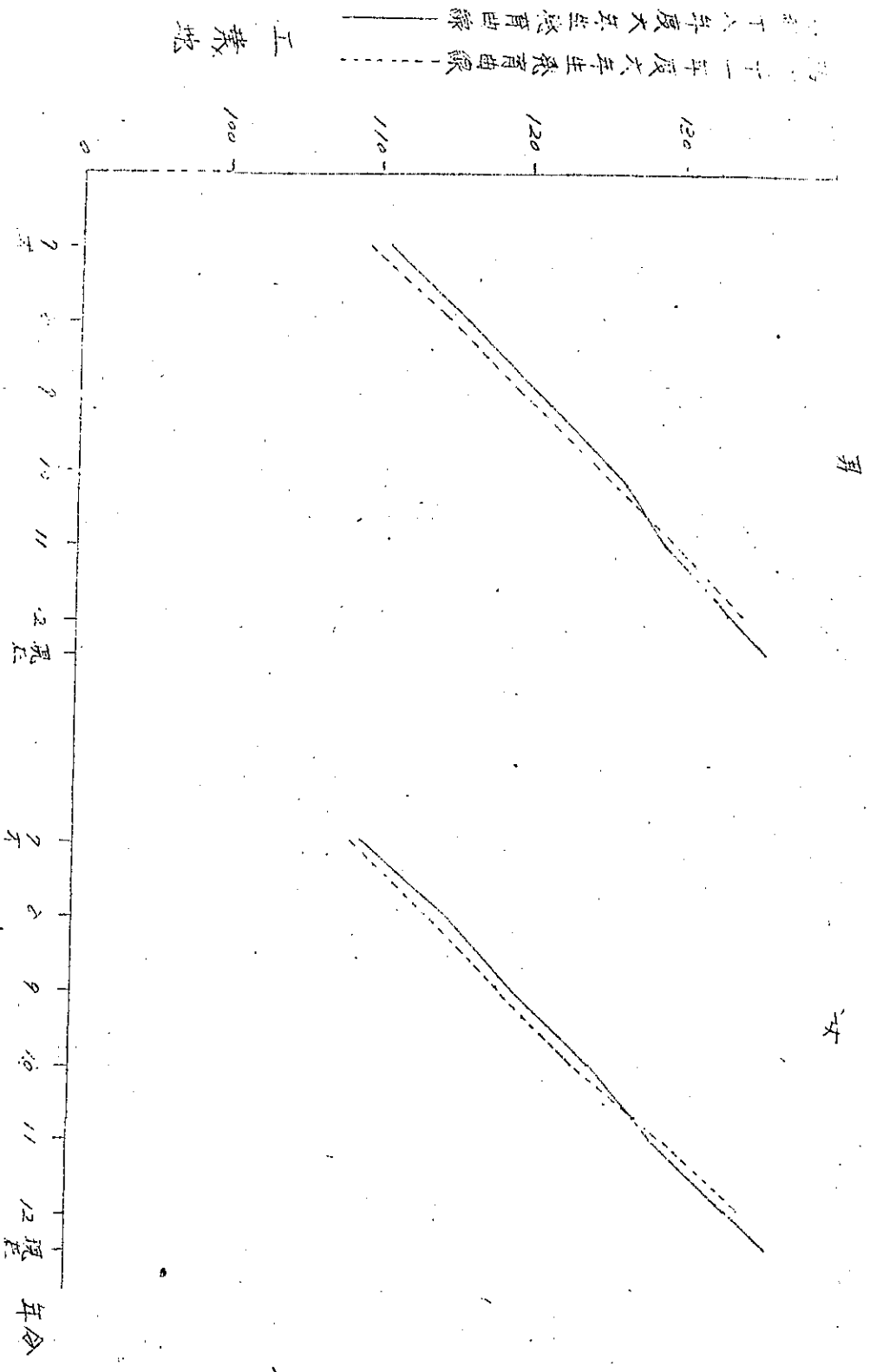
體重
乙
十二才時ノ體重

第一圖

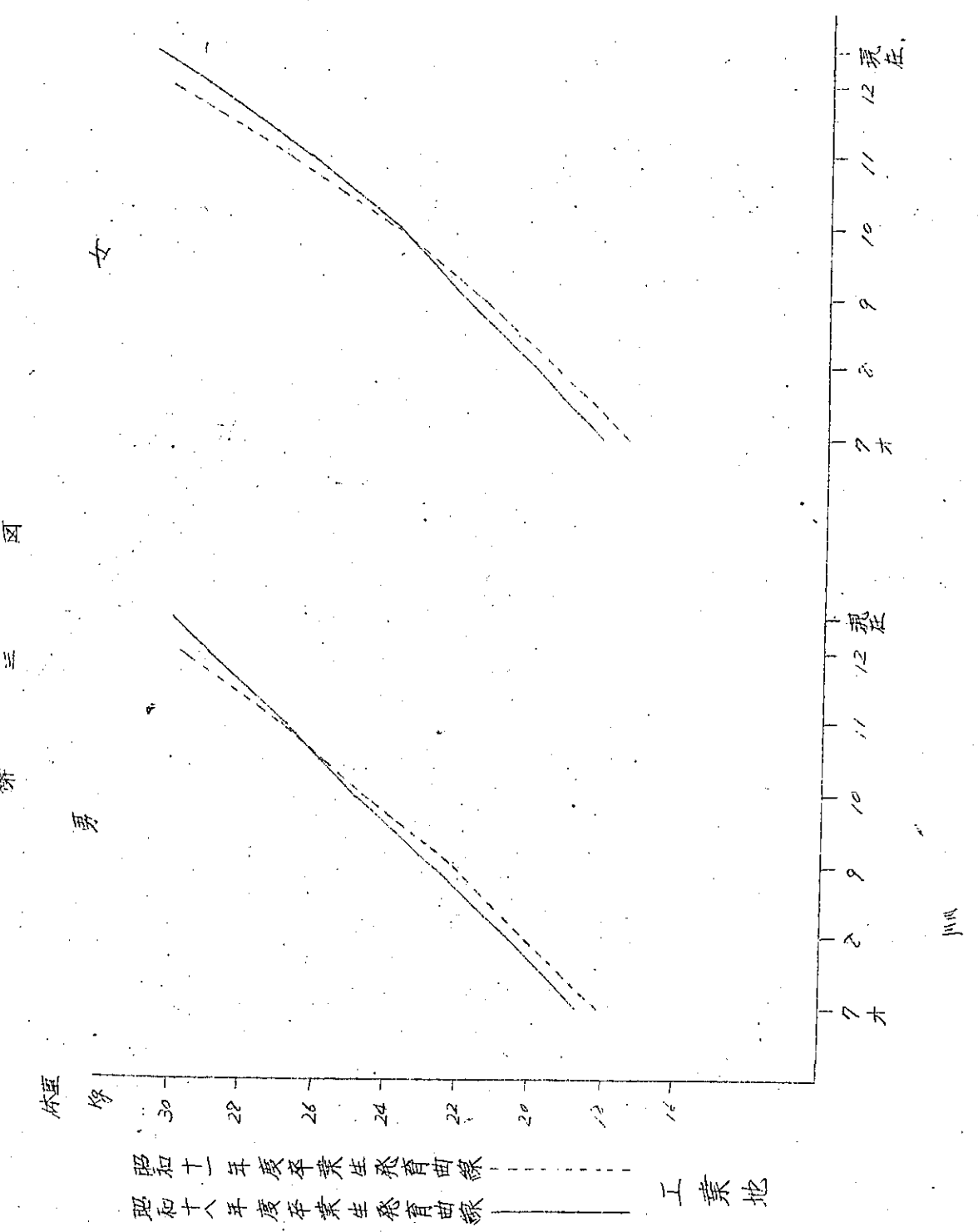


昭和十一年度卒業生教育曲線 A
 昭和十八年度卒業生教育曲線 B
 AがCトナルハ近代児童体格の
 發長化ニ伴ヒ体重増加セルナリ

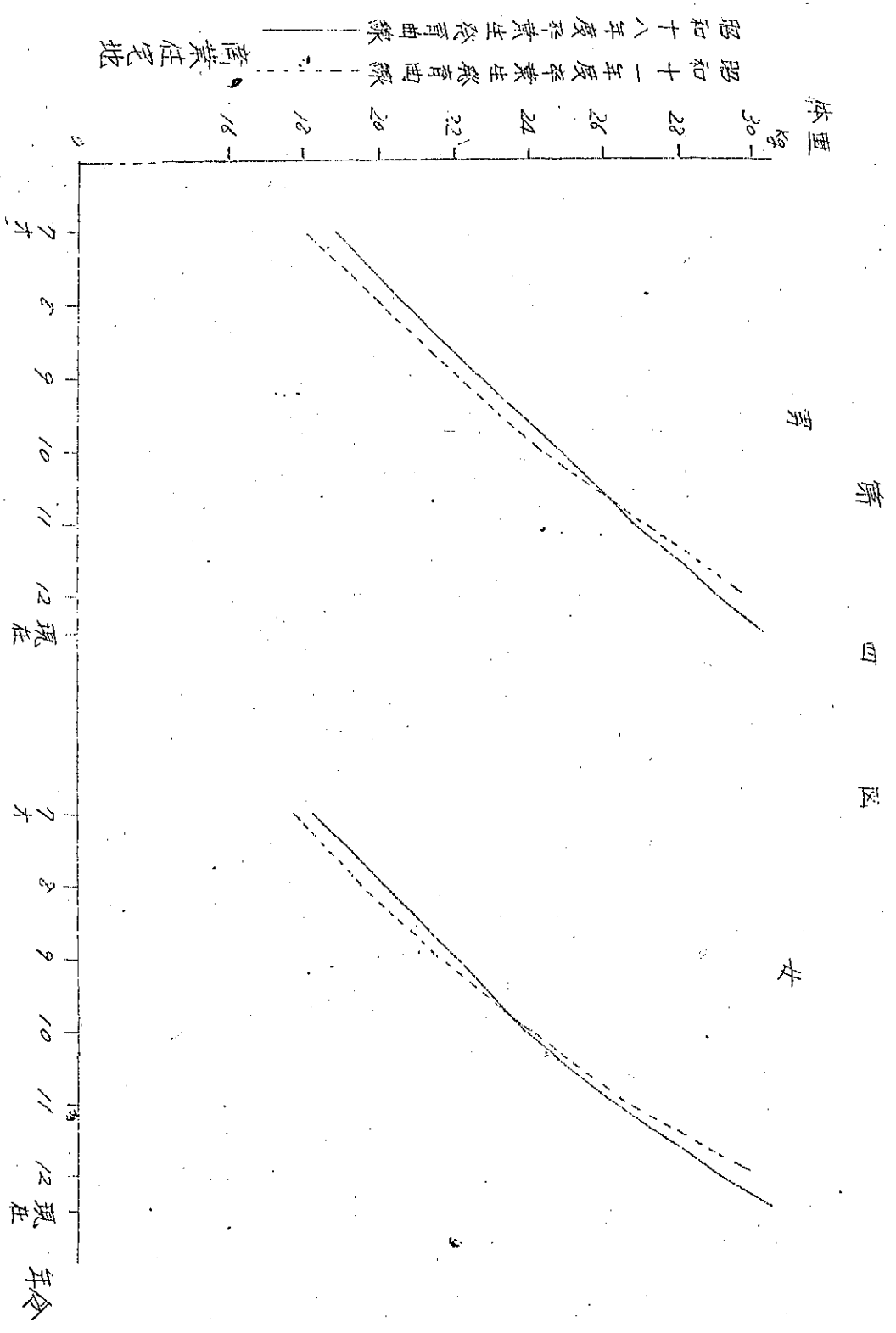
第十圖 第十一圖ハ發育ニ與テナキモノノ中代表的ナルモノヲ示シタノ
 デアル。香川縣坂本區民学校ハ農村地域ニ於テハ何レノ年齡ニ於テモ



1111

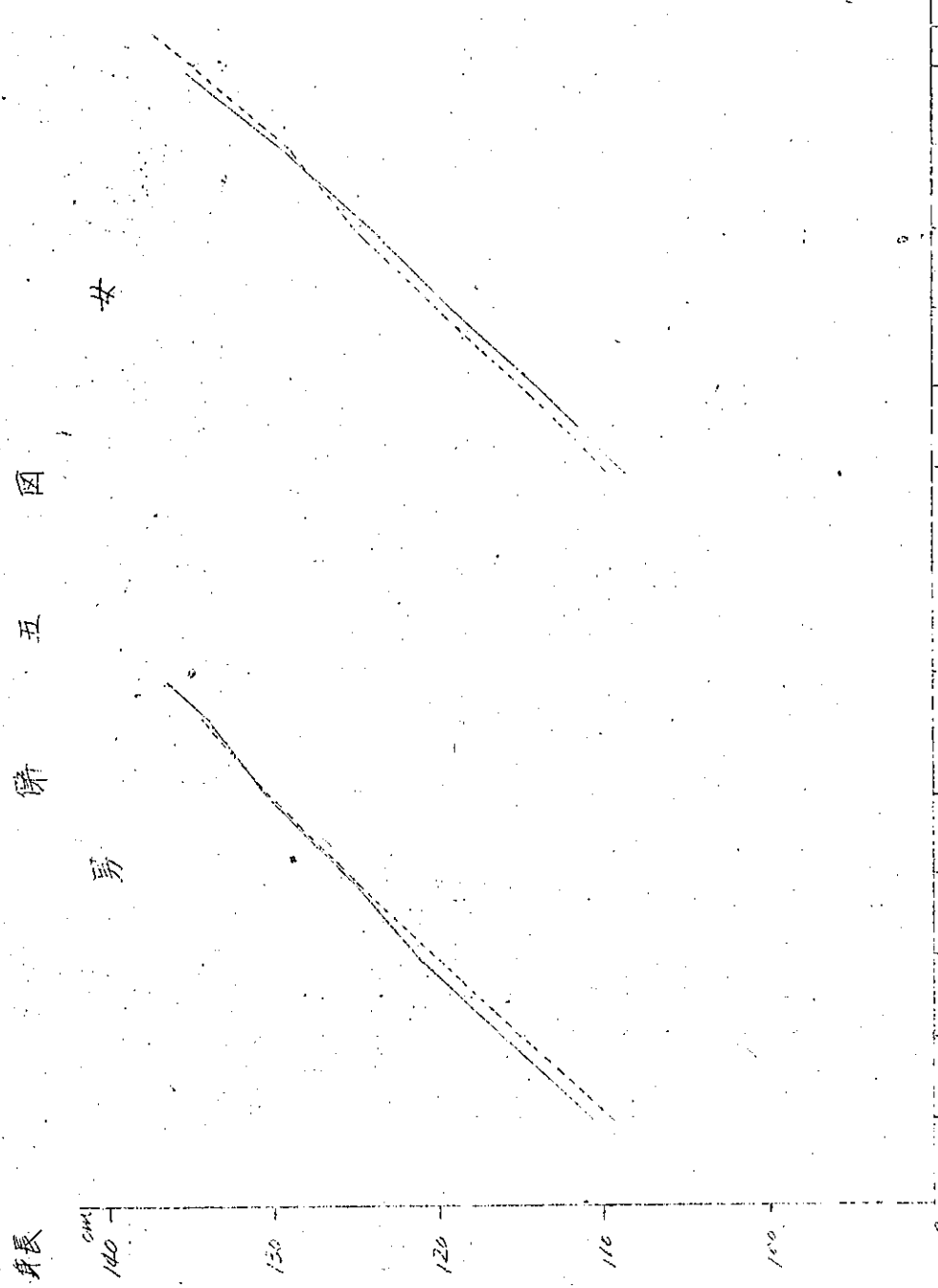


工業地



商業住宅地

現在 21 11 01 6 8 7 現在 21 11 01 6 8 7



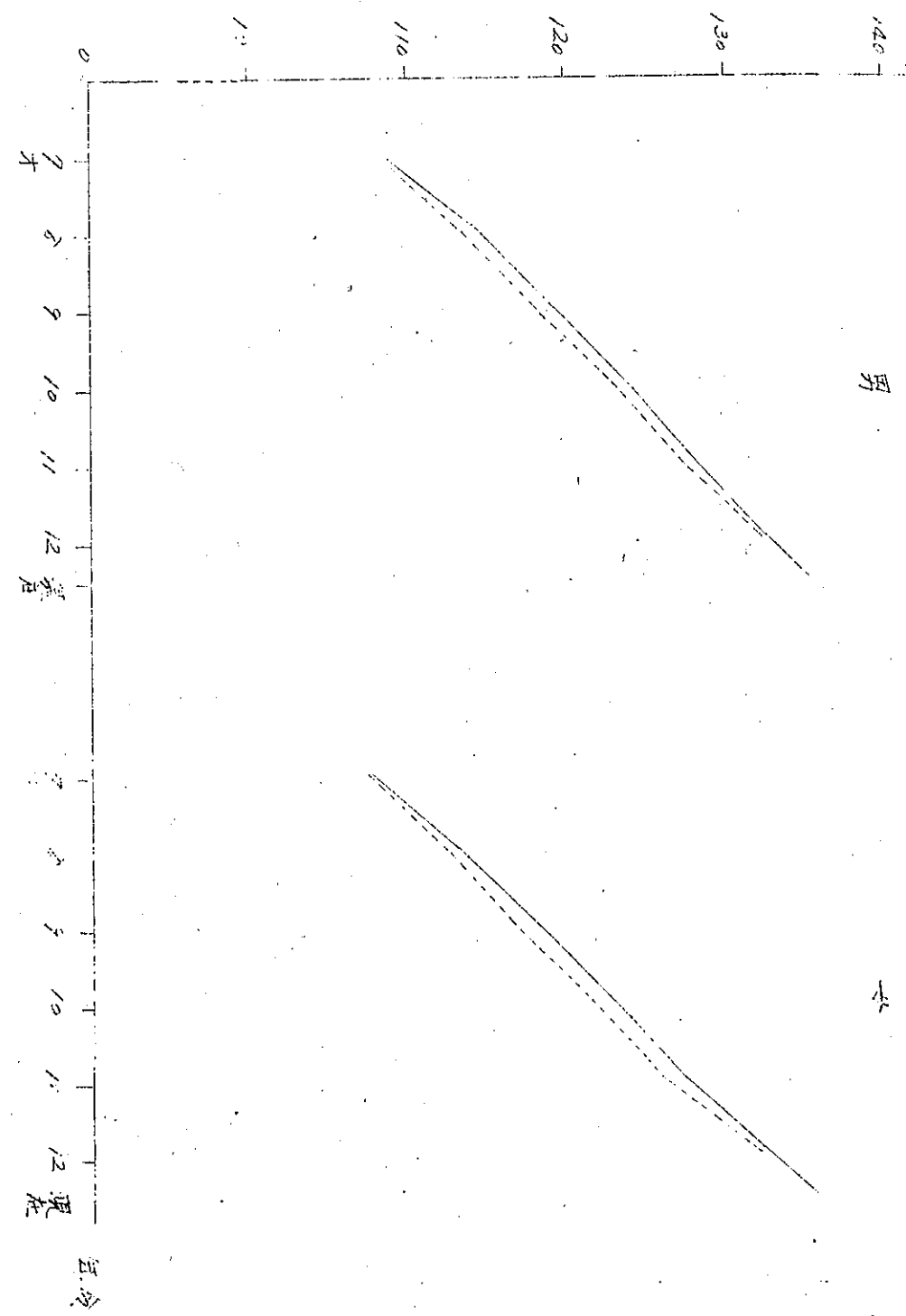
昭和十一年辰大母生發育曲線
商業住宅地
昭和十六年辰大母生發育曲線

男 男

男 男

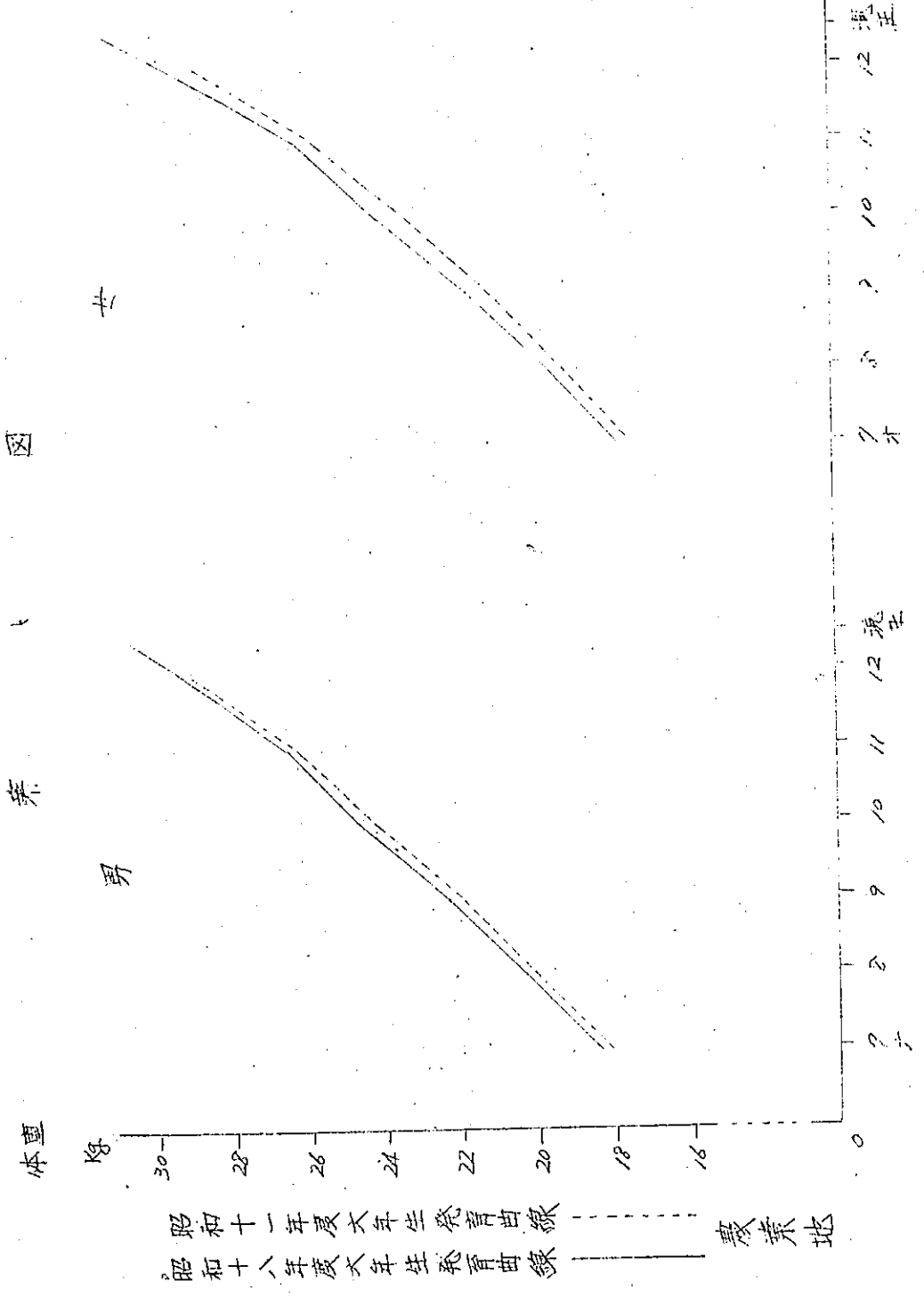
男 男

身長
cm

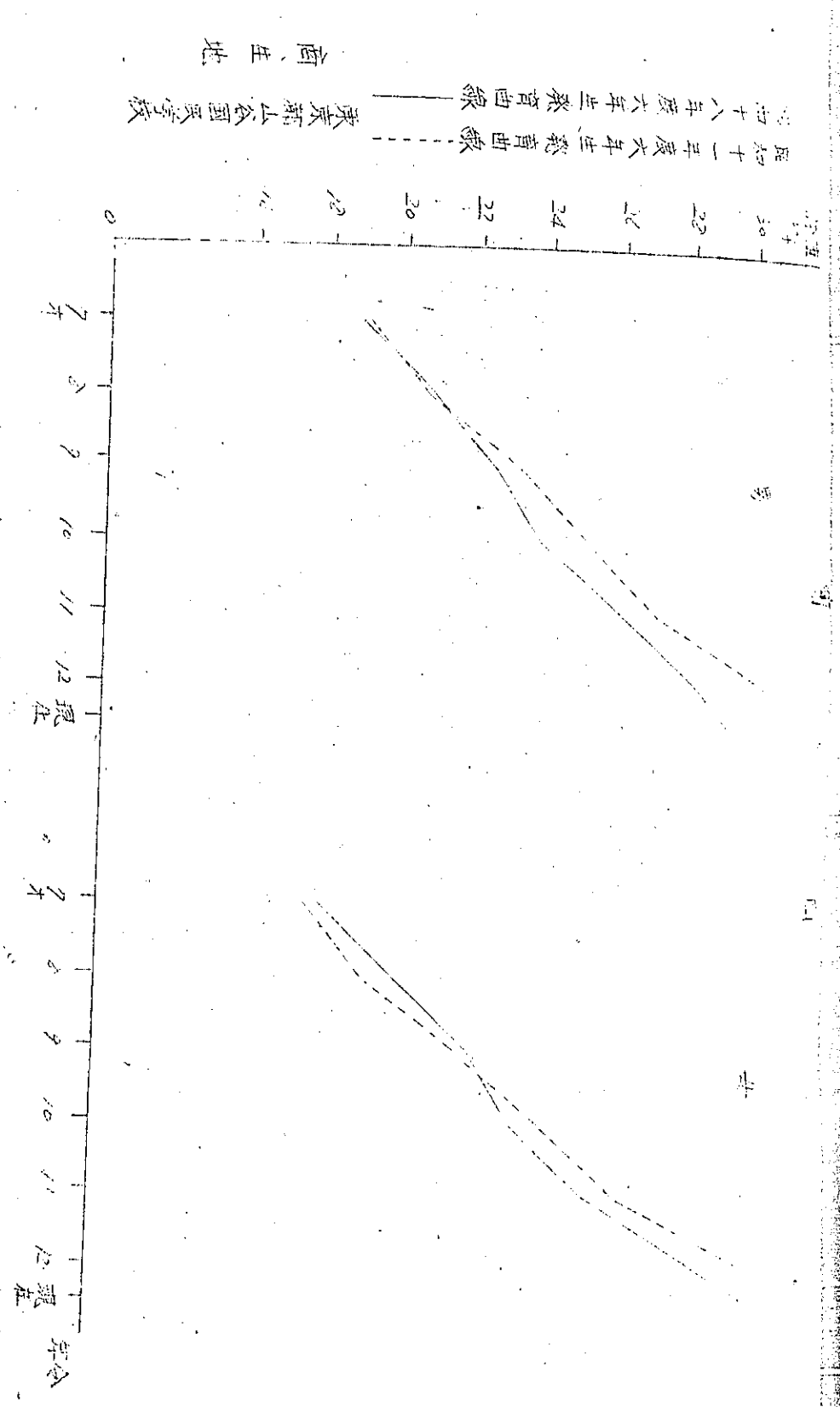


昭和十一年辰大母生發育曲線
昭和十八年辰大母生發育曲線
農業地

7 8 9 10 11 12 現在 7 8 9 10 11 12 現在



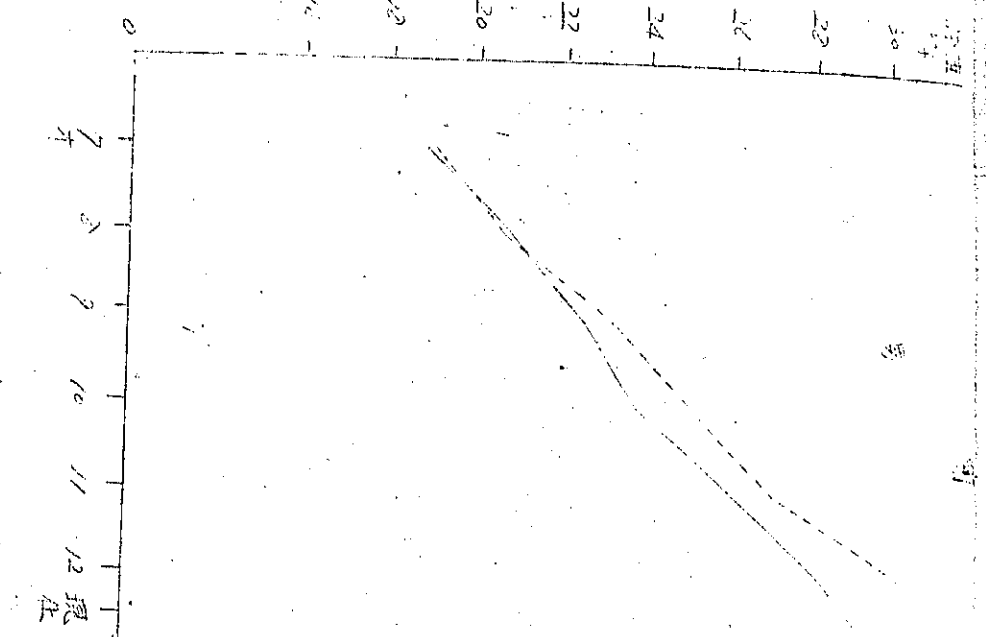
男 素 圖



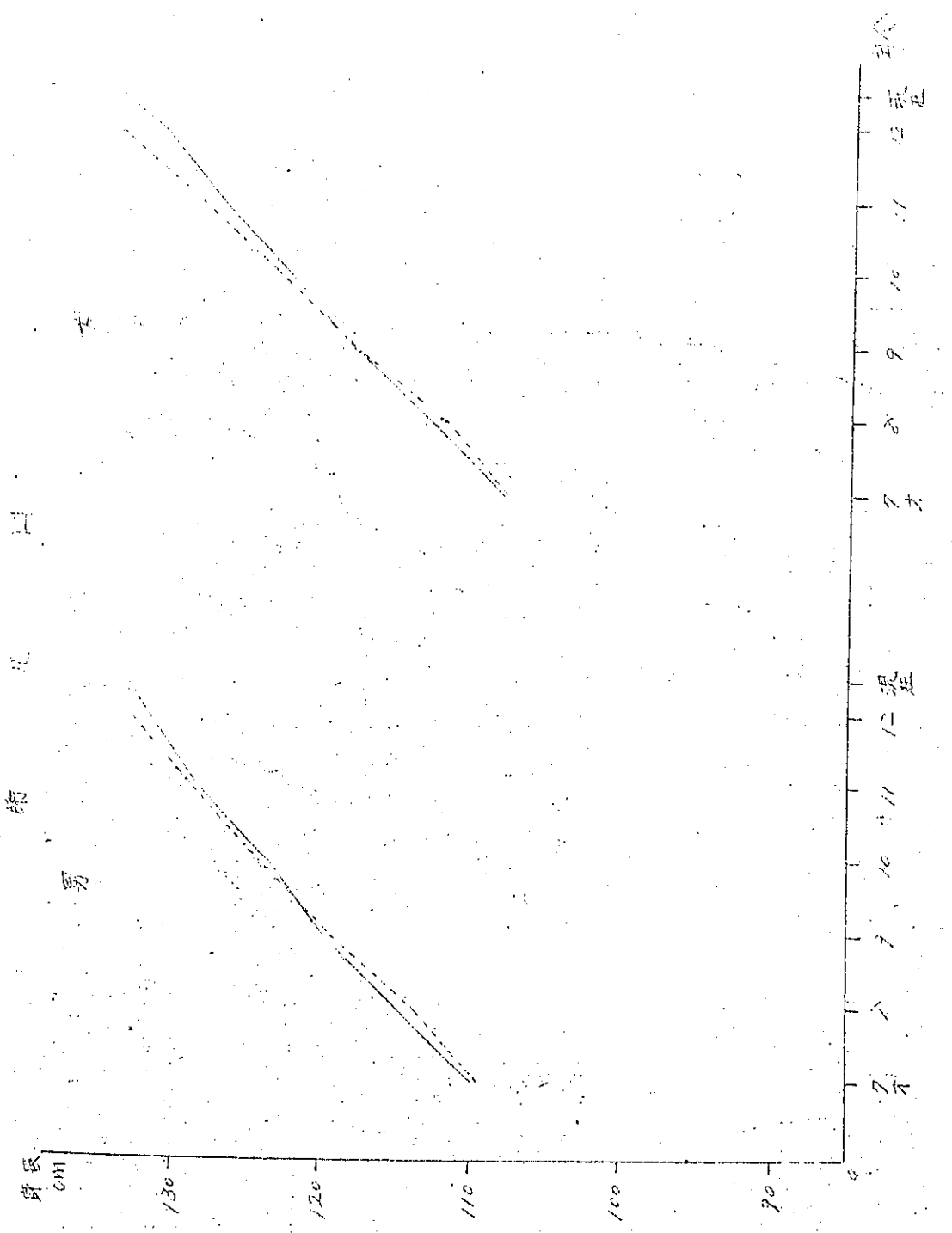
女 素 圖

昭和十一年度六年生發育曲線
昭和十八年度六年生發育曲線

表素地

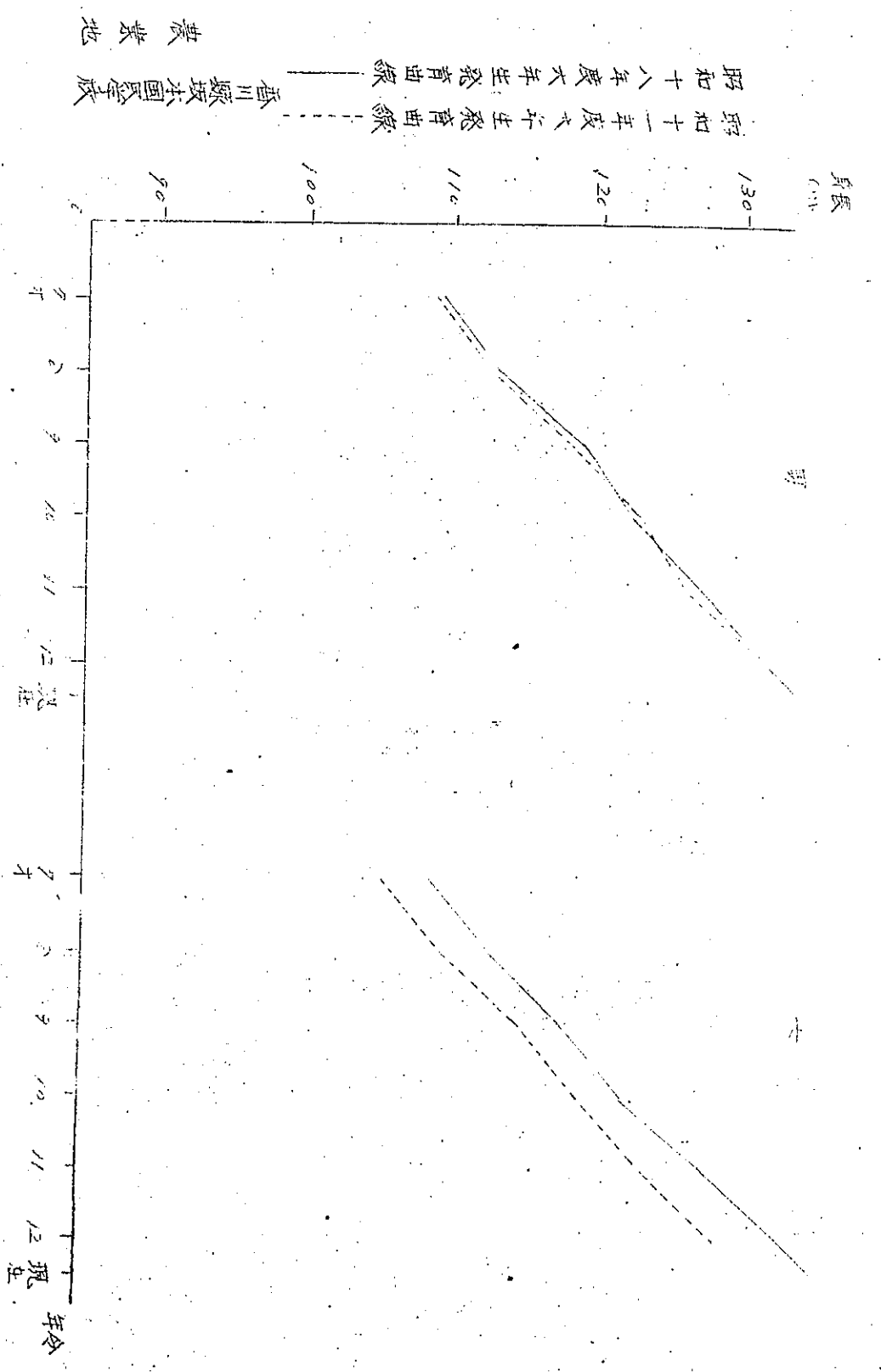


女 素 圖



昭和三十五年及六年度
昭和三十八年度

前住地
大阪市立雪国小学校



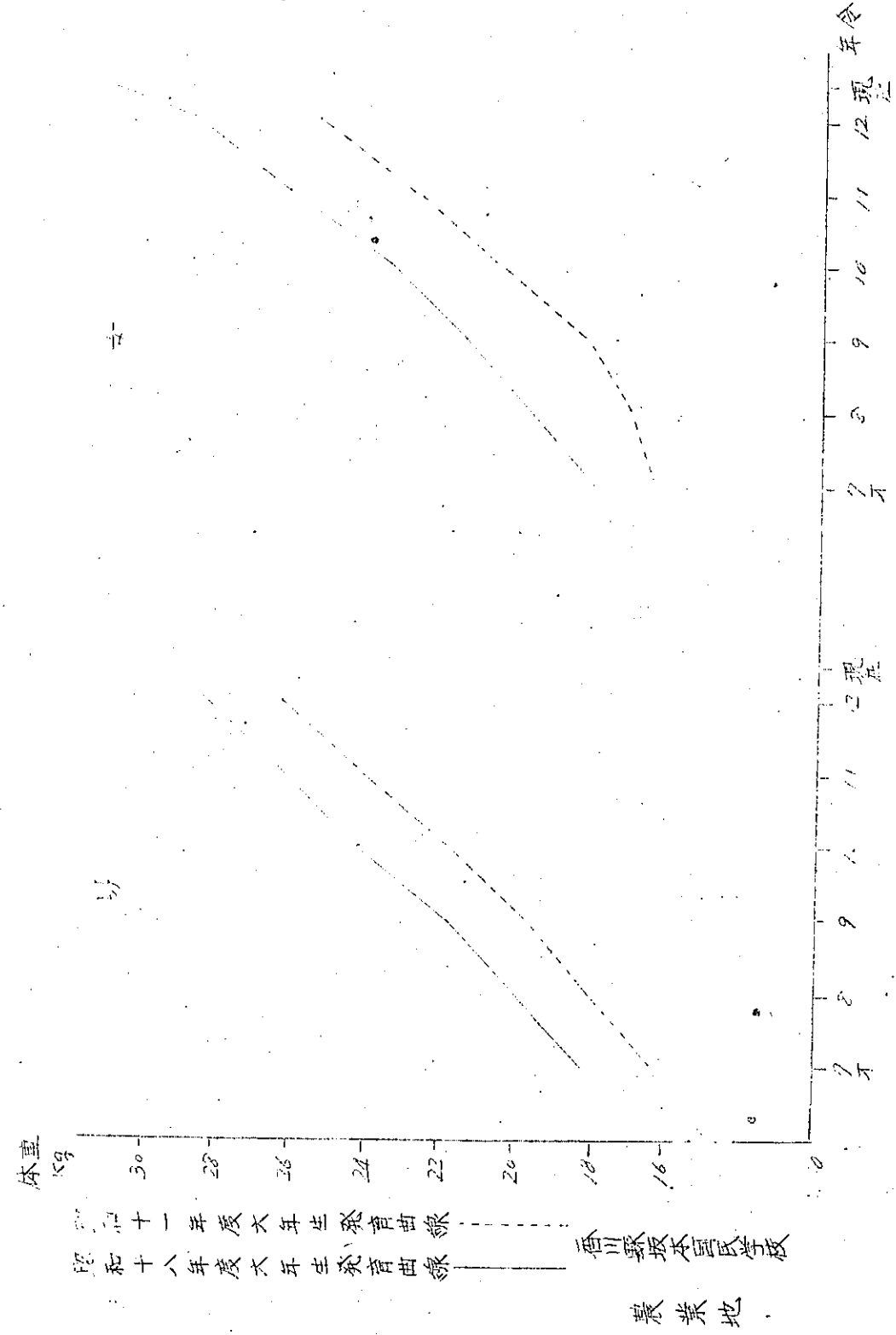
昭和三十五年及六年度
昭和三十八年度

前住地
香川県坂本国民学校

全國地域別児童身長及体重平均値

表

第十一



全國地域別年辰別平均身長及體重平均値

環境	年令	身長				體		重		
		10年度6年生	11年度6年生	10年度6年生	11年度6年生	男	女	男	女	
工業地	70年	男	110.65	102.98	108.6	102.26	12.62	12.14	12.16	17.39
		女	115.98	114.42	114.64	113.39	20.56	19.96	20.16	19.43
	90年	男	120.58	119.15	119.53	117.12	22.62	21.95	22.19	21.53
		女	125.16	124.15	124.59	123.39	24.23	23.81	24.65	23.92
	110年	男	129.02	128.31	129.23	127.13	26.92	26.28	26.92	26.80
		女	133.15	133.42	134.06	133.74	28.97	29.02	29.22	30.12
現	135.35	135.92			30.93	30.63				
住宅商業地	70年	男	110.62	109.26	109.39	108.14	12.91	12.07	12.00	17.59
		女	115.22	114.31	114.82	112.53	20.61	19.90	20.06	19.46
	90年	男	121.03	119.42	120.00	118.66	22.60	21.82	22.09	21.64
		女	124.99	124.31	124.02	123.32	24.94	23.86	24.32	23.98
	110年	男	129.77	128.45	129.49	128.60	26.95	26.07	26.21	26.61
		女	133.69	133.52	133.99	134.22	29.29	29.12	29.60	29.96
現	136.37	136.89			30.34	30.55				
農漁村	70年	男	102.82	107.69	108.13	107.11	12.32	17.65	12.04	17.25
		女	114.32	112.27	113.49	112.29	20.32	19.55	19.25	19.01
	90年	男	119.26	118.19	112.35	116.91	22.26	21.52	21.94	21.00
		女	124.02	123.99	123.66	121.72	24.62	23.93	24.12	23.19
	110年	男	122.35	122.42	123.55	124.21	26.53	25.99	26.37	25.56
		女	132.57	132.69	132.14	131.92	29.17	29.26	29.05	28.65
現	135.00	135.64			30.60	31.02				

地域別道府縣別児童別ノ数及ヒ12歳身長及ヒ体重平均値 教育不良ノ大ナル其ノ有意性

身長 (単位cm) 男子

府 縣	昭和10年度		昭和11年度		12年度児童ノ対シ11年度間ノ教育量D12-D11	差ノ有意性 $\frac{D12 - D11}{\sqrt{\frac{D12^2 + D11^2}{n12 + n11}}}$	
	7歳	12歳	7歳	12歳			
工業地	北泉愛大広 計	105.480	132.661	107.917	133.639	-2.409	-10.04
		111.647	134.947	110.174	134.413	-0.929	-4.50
		102.960	131.160	102.312	132.220	-1.77	-3.26
		116.960	132.980	102.940	133.600	-2.24	-6.44
		110.512	133.395	109.578	134.922	-2.411	-14.42
計	110.65	133.15	109.26	134.05	-2.3	-14.22	
住宅商業地	北秋宮東慶大香 計	114.760	133.260	109.930	133.220	-1.63	-3.43
		109.772	132.722	107.363	132.149	-1.79	-5.76
		116.273	134.910	109.575	135.239	-1.67	-7.72
		110.905	134.765	110.922	136.120	-1.33	-4.40
		114.225	132.521	109.412	132.222	-1.04	-3.14
計	110.62	133.69	109.37	133.99	-0.55	-5.13	
濃 漁 村	北秋宮東慶大広香 計	102.321	132.320	102.320	132.605	0.226	0.23
		102.302	132.265	107.718	131.370	-0.305	-1.16
		109.257	134.023	107.994	132.167	0.347	1.12
		102.236	131.951	107.750	131.752	0.227	1.01
		110.111	132.969	109.964	132.126	1.364	3.90
計	109.821	132.556	110.555	132.525	-1.645	-3.07	
	109.071	132.450	109.207	132.204	0.012	0.06	
	108.324	131.700	108.020	131.592	-0.136	-0.442	
	108.828	132.57	102.13	132.14	-0.32	-2.00	

地勢別都道府縣別土産物の産出量及び12歳児童及び12歳未満児童の平均年齢(単位:千トナリ、有効性
 表、三、本、重、(単位:千)

産 名	昭和12年度			昭和11年度			12歳児童及び12歳未満児童の平均年齢(単位:千トナリ)	有効性 $\frac{\sigma_{12}^2 + \sigma_{11}^2}{M_{12} + M_{11}}$
	1 産	2 産	3 産	1 産	2 産	3 産		
工業地	千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 計	12,442	29,310	12,193	29,650	-0.529	-2.63	
		12,921	29,746	14,775	29,710	-0.910	-3.23	
		18,420	29,960	14,630	29,590	-1.42	-3.18	
		12,210	29,190	12,620	29,500	-1.10	-3.01	
		12,722	22,352	12,490	30,391	-2.271	-9.68	
		12,668	22,977	12,16	29,66	-1.21	-9.64	
		12,116	22,721	12,711	22,887	-1.735	-6.57	
		22,573	29,645	12,140	29,901	-0.104	-0.54	
		12,260	29,779	12,133	30,447	-0.771	-4.35	
		19,111	29,395	12,600	29,022	-2.034	-2.33	
商業住宅地	千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 計	12,492	29,704	17,600	29,622	-0.2510	-0.96	
		12,960	22,336	17,971	29,622	-2.081	-10.06	
		12,373	22,943	12,184	22,769	-2.08	-0.05	
		12,771	29,29	12,00	29,60	-1.02	-12.35	
		12,285	29,159	12,232	29,838	-1.132	-4.02	
		12,665	29,214	12,092	29,293	-0.052	-0.24	
		12,152	29,726	17,982	22,164	0.392	1.58	
		12,240	22,899	12,134	22,199	0.189	0.85	
		12,977	22,290	12,013	29,281	-0.355	-1.23	
		12,347	22,192	12,202	29,023	-0.269	-0.82	
農 業 地	千葉県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 計	12,518	29,269	12,011	29,053	-0.291	-1.18	
		12,344	22,735	12,776	22,417	-0.030	-0.10	
		12,332	29,17	12,04	29,05	-0.16	-1.78	

表二

不生育平均値及生育率及平均生育率及平均生育率及平均生育率
 (均按平均値計算)

府縣名	昭和10年度		昭和11年度		12歳學童ノ才 ¹ ~12才 ² ノ才 ¹ ノ差 D ₁₂ -D ₁₁	差ノ有 ^性 性 $\frac{D_{12}-D_{11}}{\frac{\sigma_{D_{12}}^2 + \sigma_{D_{11}}^2}{11}}$
	1歳	2歳	1歳	2歳		
工業地	12,256	29,793	19,390	30,669	-1,200	-4.38
	17,994	22,833	17,522	31,095	-2,708	-7.92
	12,040	22,140	14,590	27,400	-0,31	-0.51
	18,670	28,300	19,120	28,490	-1,08	-2.51
	12,224	28,735	17,920	30,940	-2,99	-6.33
計	12,14	29,08	17,39	30,12	-1,79	-10.29
商業住宅地	7,262	22,693	19,598	29,729	-1,300	-3.65
	17,995	23,406	17,302	29,034	-0,121	-0.69
	12,091	29,841	17,762	30,106	-0,594	-2.54
	18,544	29,151	12,211	30,984	-2,166	-6.85
	12,355	22,976	17,28	30,239	-2,290	-6.91
計	12,859	28,96	17,940	29,266	-2,563	-7.69
農地	12,07	29,02	17,77	29,96	-1,42	-13.50
	17,235	30,170	17,616	34,920	-4,269	-2.52
	17,437	29,164	17,147	22,555	0,319	1.24
	12,030	24,293	17,262	22,210	0,645	2.11
	17,527	22,232	17,090	22,641	0,240	0.92
計	17,466	29,001	17,111	22,471	0,120	0.47
	17,766	22,766	17,351	29,093	-0,717	-1.86
	17,645	22,990	17,285	22,058	0,552	1.91
	17,532	22,471	17,254	29,195	1,758	5.42
	17,55	29,26	17,25	22,65	0,21	1.91

一 其ノ二 妊婦及新生児

妊婦及新生児ノ榮養現況ニ関スル調査報告

目次

一 調查方針

二 調查對象

三 調查方法

第一項 新生児体重ノ年次の推移ノ觀察

第二項 妊婦体重ノ年次の推移ノ觀察

第三項 妊婦体重ト其ノ出生児体重ノ年次の推移ノ觀察

四 調査成績

第一項 新生児体重ノ年次の推移

イ 体重群別ニ觀タル新生児体重ノ年次の推移

ロ 性別ニ觀タル新生児体重ノ年次の推移

- 八 地域別ニ觀タル新生児体重ノ年次の推移
- 第二項 妊婦体重ノ年次の推移
- 第三項 妊婦体重ト其ノ出生児ノ年次の推移

五 総括

結論

昭和十七年度ニ於テ妊婦及ビ新生児ノ体重、疾病並ニビタミンC飽和度等ヲ通ジテ觀タル栄養現況ノ第一回調査ヲ行ヒ、其成績ヲ報告シタ。本調査ハ第一回調査ノ繼續トシテ、其ノ後ノ年次の推移ヲ体重ニ依ツテ觀察セラルモノデアル。本調査ニ於テ第一回調査ト稍異シテハ方法ヲ簡易ニシタコトト、調査期間ニ於テ第一回ハ昭和十二年ヨリ十七年ニ至ル六年間ノ年次の推移デアツタガ、十二年ノモノガ其ノ後ノモノト稍着シク異ル所ガアツタノデ、十二年ノ異ル点ヲ其ノ前後ヲ通ジテ明カナラシメムガタメニ東京ニ於テ八十一年ノモノヲ、又大阪ニ於テ八十一年及ビ十年ノ二年間ノモノヲ加ヘテ觀察シタ。尚第一回調査ノ昭和十七年ノ成績ハ調査時期ノ関係カラ、同年八月末日マデノ成績デアツタノデ、本調査ニ於テ八月十二日末日マデノモノトシタ。

調査対象

調査ノ対象ハ東京ニ於テハ東京都立築地産院及ヒ賛成會錦糸病院、大阪ニ於テハ大阪市立廣町産院ニ收容セラレタ妊婦並ニ新生児デアツテ、中産以下ノ諸種職域ニ在ル者デアリ、本調査項目ニ於ケル対象ノ年次別、性別並ニ地域別ノ例数ハ次ノ如クデアリ。

一 新生児体重ノ年次の推移ノ調査対象数
(東京)

年次	男	女	計
昭和十一年	一八五三	一七六五	三六一八
十二年	二五三二	二三六八	四九〇〇
十三年	二四八八	二四六七	四九五五
十四年	二四二二	二二一七	四六四〇
十五年	三〇六五	二〇〇六	六〇七一
十六年	二二三三	二二〇二	四五三五
十七年	七五二	六九四	一四四六
十八年	一八五五	一七七一	三六二六

(大阪)

年次	男	女	計
昭和十年	五三五	四五七	九九二
十一年	七八九	七〇三	一四九二
十二年	一〇六一	九三三	一九九五
十三年	一〇七八	一〇二一	二〇九九
十四年	九三五	八五〇	一七八五
合計	一八五五	一七七一	三六二六

三、妊婦体重ノ年次別推移ノ調査対象数

年次	妊婦数
十五年	四一〇
十四年	一四三九
十三年	一四一五
十二年	一三三七
合計	六五一七
十八年	二八九
十七年	五四四
十六年	九六七
十五年	八八六
合計	六五二七
十八年	二九九
十七年	五一三
十六年	八五五
十五年	一八二二
合計	一三六九四
十八年	五八八
十七年	一〇五七
十六年	一八六四
十五年	五五

三、妊婦体重ト其ノ年次別推移ノ調査対象数

年次	母手数
十五年	一四三九
十四年	一四一五
十三年	一三三七
十二年	一三三七
合計	一四三九
十八年	一四三九
十七年	一四一五
十六年	一三三七
十五年	一三三七
合計	一四三九
十八年	一四三九
十七年	一四一五
十六年	一三三七
十五年	一三三七
合計	一四三九